

医療現場で使われる除菌剤の家庭用タイプ 大掃除シーズンに向け、「リバルス ET-200」を発売

～ インフルエンザ、ノロウイルス、レジオネラ菌などにも有効 ～

除菌、防カビ剤を製造する^{トローフ}濤和化学株式会社（所在地：大阪府東大阪市 代表：菱田 巖）は、インフルエンザやノロウイルスなどへの効果から医療現場で使用されている除菌剤の家庭用タイプ「リバルス ET-200」を12月10日より発売いたします。

同商品は有毒性がほとんどなく、除菌効果が約一週間持続することが特長で、200倍に希釈してトイレや床の拭き掃除、お風呂の防カビ、ゴミ箱の消臭など様々な用途に使用できます。

新しい気持ちで新年を迎えるため、また冬場に流行するウイルスの対策から、年末は家の隅々まできれいにする家庭が少なくありませんが、キッチン、トイレ用、カビ取りなど場所や用途別に洗剤や除菌剤が販売されており、すべてを買い揃える手間や支出はばかになりません。また塩素系漂白剤は、酸性の洗剤と混ぜると猛毒の塩素ガスが発生するなど、使い方に注意を要するものも多く、幅広い場所や用途に安全に使用できる除菌剤が求められています。



埃の舞い上げを防止、インフルエンザ対策にも

リバルス ET-200 は塩素など毒性の強い成分で有害菌を溶解するのではなく、特殊カチオン界面活性剤の働きで汚れを瞬時に浮き上がらせて除去し、ウイルスを不活性化、細菌を死滅させます。そのため住まい用、キッチン用、トイレ用など用途別に使い分ける必要がなく、様々な用途に使用できます。

水で薄めて、床やテーブルの上、トイレなどの拭き掃除や三角コーナーやゴミ箱の消臭剤として。原液のままキャップ一杯投入することで、排水溝や洗濯物の除菌にも使用できます。また床を拭くことで埃の舞い上げを防止し、埃やウイルスの室内への拡散を防ぎます。



商品名	内容	価格
リバルス ET-200	成分：特殊カチオン性界面活性剤 効能：除菌・消臭・防カビ 用法：使用時に水で200倍に希釈 容量：500ml	2,200円 (税込)

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

濤和化学株式会社 メディカル事業部 担当：菱田まさえ 携帯：090-8536-0790

〒581-0823 大阪府八尾市桂町1丁目52-3

ホームページ <http://www.towa-chemical.com>

Tel:072-995-3004 Fax:072-995-3504

読者からの問い合わせ先 090-8536-0790

参考資料

■会社概要

社名	濤和化学株式会社
代表者	会長 菱田 巖
従業員数	150名
創業	昭和27年
資本金	1,000万円
本社	大阪工場 〒578-0935 大阪府東大阪市若江東町6丁目6-35 Tel:06-6723-5700 Fax:06-6723-3509
	大東工場 〒574-0056 大阪府大東市新田中町1-11 Tel:072-806-2651 Fax:072-806-2653
	関東工場 〒344-0001 埼玉県春日部市不動院野2649-1 Tel:048-761-5311 Fax:048-761-5369
	春日井工場 〒486-0953 愛知県春日井市御幸町1丁目3-26 Tel:0568-31-2628 Fax:0568-33-1336
メディカル 事業部	医薬製造工場 〒581-0823 大阪府八尾市桂町1丁目52-3 Tel:0729-95-3004 Fax:0729-95-3504
	研究所 〒581-0823 大阪府八尾市桂町1丁目52-3 Tel:072-996-2410 Fax:072-996-9811

■リバルスの有効性











微生物名	5秒	30秒	1分	3分	5分	試験機関
結核菌	NT	NT	NT	NT	(—)	阪大医学部
鳥インフルエンザ	NT	NT	不活化	NT	NT	北大獣医研
インフルエンザ	接触直後に感染価が1/10に低下					三菱化学 BCL
SARA	NT	NT	不活化	NT	NT	長崎大学
レジオネラ	NT	NT	(—)	NT	NT	中央微生物研究所
ノロウイルス(ヒト由来)	NT	NT	NT	不活化	NT	バイオビジョン
MRSA	NT	(—)	NT	NT	NT	阪大医学部
黄色ブドウ球菌	NT	(—)	NT	NT	NT	阪大医学部
O-157	(—)	(—)	NT	NT	NT	中央微生物研究所
大腸菌	NT	(—)	NT	NT	NT	阪大医学部
サルモネラ	(—)	(—)	NT	NT	NT	中央微生物研究所
腸炎ビブリオ	(—)	(—)	NT	NT	NT	中央微生物研究所
白癬菌 (80倍希釈)		(—)				阪大医学部

※ (+) : 菌が死滅せず (—) : 菌が死滅した NT : 試験を行っていない

病院内の床拭きとり実使用試験

病院にてリバルスと他社の薬液を使用し、床の拭き取り試験を行った。

リバルスは他社品よりも細菌への効力があることがみてとれた。また、リバルスは24時間経過後も細菌数の増加がみられず持続的な抗菌効果を持っていると考えられる。

	3時間後	9時間後
Control 薬剤無し		
リバルス		
S液		
O液		
T液		

■リバルスの持続性

Control(最初)	リバルス使用 直後	リバルス使用 24時間後
		

武田病院臨床検査部

■リバルスの安全性

リバルスの毒性は非常に弱い

経口毒性	10%液	ラット	LD50 \geq 2000mg/kg
眼粘膜刺激性実験	0.2%液	ウサギ	刺激性認めず
皮膚感作性	0.2%液	モルモット	感作性認めず
皮膚一次刺激性実験	0.2%液	ヒト	刺激反応認めず

生活科学研究所